

Presario 5240 FDISK・リストア手順

FDISK・リストア作業を実施される前に

- 作業にあたり、以下のものをお手元にご準備下さい。
「QUICKRESTORE」と記載のある赤色のCD-ROM(クイックリストアCD、またはリストアCDと呼びます)
「Microsoft Windows98 ファーストステップガイド」(冊子)
リストア後のWindows セットアップで、Windowsのプロダクトキー(Product Key)入力が必要となります。プロダクトキーの入力がないとWindowsの起動が出来ず、マシンをご使用いただくことができなくなります。Windowsのプロダクトキーは上記ガイドブックの表紙に記載がありますので、必ずご確認の上、作業を始めていただけますようお願い致します。
- リストア中、ご使用のコンピュータのシリアルナンバーを入力するよう指示が表示される場合があります。シリアルナンバーは、保証書、または本体背面のシールに記載されています。保証書をご準備いただくか、背面の番号をあらかじめメモに取ってから本作業を始めるようおすすめします。
- 周辺機器(ハードディスク、メモリ、LANカードやSCSIカード等)を増設している場合、リストアが正常に終了しない場合があります。リストア作業をする場合は周辺機器を取り外してから作業を実施して下さい。
- リストアを実施するとハードディスク内のデータは全て消去されますので、ご注意下さい。
作業前に必ずデータのバックアップをお取り下さい。

再起動の方法について

- コンピュータを再起動する場合は、キーボードから[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に1度押します。
- この操作を数回繰り返しても再起動しない場合、コンピュータの電源ボタンを4秒以上押し続けることで電源を落し強制終了することができます。強制終了後は10秒以上経過してから電源を入れ起動して下さい。

-----以下作業手順-----

1. 出荷時のリソースへ戻す設定(セットデフォルト)

目的 :ハードウェアの設定を出荷時の状態に戻します。

- 電源を投入後、「COMPAQ」のロゴ画面でキーボードから [F10] キーを数回押します。
この時「Keyboard Error」と表示されることがありますが、画面が変わるまでそのまま続けて何度か押し続けてください。
- 「Language」という言語選択画面が表示されます。「English」のまま [Enter] キーを押します。
- 「Computer Setup」の下の方に「System」が選択された状態の画面が表示されます。「Exit」を選択します。
キーボードの [] [] キーにて「Exit」を選択して下さい。
ここで QUICKRESTORE_CD をドライブに入れて下さい。
- キーボードの [] [] キーにて「Set default and reboot」を選択し [Enter] キーを押すと、自動的に再起動します。

2. FDISK コマンドによる領域の削除

目的 現在のハードディスク領域の削除をします。

1) QUICKRESTORE CD が入ったまま再起動し、次の画面が表示されます。

1. クイックリストア (クイックフォーマット)
2. クイックリストア (完全フォーマット)
3. PC Diagnostics (診断) のディスク作成
- 4. MS DOS**

実行するプログラムの番号を選択してください。

2) ここでキーボードから [4] キーを押します。

3) メニューの下に「A:¥>」と表示されます。

「A:¥>」の後に続けて **fdisk** と入力し、[Enter] キーを押します。
アルファベットの入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。

4) 次の画面が表示されます。

512MB 以上のディスクがあります。このバージョンの Windows では、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2GB 以上のドライブを 1 つのドライブとしてフォーマットできます。

大容量ディスクサポートを使用可能にしますか (Y/N)-----? [Y]

5) 「Y」のまま [Enter] キーを押します。次の画面が表示されます。

FDISK オプション

次のうちからどれか選んでください:

1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
- 3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除**
4. 領域情報を表示

どれか選んでください:[1]

6) 現在の領域を削除します。ここでキーボードから [3] キーを押し [Enter] キーを押します。
次の画面が表示されます。

MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除

次のうちからどれか選んでください:

- 1. 基本 MS-DOS 領域を削除**
2. 拡張 MS-DOS 領域を削除
3. 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 非 MS-DOS 領域を削除

どれか選んでください:[]

7) 基本 MS-DOS 領域を削除します。ここでキーボードから [1] キーを押し [Enter] キーを押します。

8) 次の画面が表示されます。

基本 MS-DOS 領域を削除

注意！削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります。
どの基本領域を削除しますか.....? [1]

9) [1]と表示されていることを確認し、そのまま[Enter]キーを押します。
ボリュームラベル入力画面になります。

ボリュームラベルを入力してください.....? []

10) 空欄のまま [Enter] キーを押します。次の画面が表示されます。

よろしいですか (Y/N).....? [N]

11) ここでキーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押します。

12) 基本 MS-DOS 領域を削除しました。」というメッセージが表示されます。
[Esc] キーを 1 回押すと、FDISK のメニューへ戻ります。

3. FDISK コマンドによる領域の作成

目的 :ハードディスクに新しい領域を作成します。

1) 下記の FDISK オプションより、領域作成作業に入ります。

FDISK オプション

次のうちからどれか選んでください:

- 1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成**
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 領域情報を表示

どれか選んでください:[1]

2) [1]のまま [Enter] キーを押します。次の画面が表示されます。

MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成

次のうちからどれか選んでください:

- 1. 基本 MS-DOS 領域を作成**
2. 拡張 MS-DOS 領域を作成
3. 拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成

どれか選んでください [1]

3) [1]のまま [Enter] キーを押します。ドライブチェックが始まりますので、しばらくお待ち下さい。

4) 次の画面が表示されます。

基本 MS-DOS 領域を作成

基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか
(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N).....? [Y]

5) [Y]のまま [Enter]キーを押します。再度ドライブチェックが始まります。

6) 次の画面が表示されます。

変更を有効にするには、コンピュータを再起動して下さい。
変更または作成したドライブは、すべて再起動後にフォーマットする必要があります。

再起動する前に Windows を終了して下さい。

FDISK を終了するには **Esc** キーを押して下さい。

7) ここでキーボードから[Esc]キーを押します。「A:¥>」の画面に戻ります。

8) QUICKRESTORE CDをドライブに入れたままの状態、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

4. FORMAT コマンドによるハードディスクの初期化

目的 :ハードディスクを利用可能な状態にします。

1) QUICKRESTORE CD が入ったまま再起動し、次の画面が表示されます。

1. クイックリストア (クイックフォーマット)
2. クイックリストア (完全フォーマット)
3. PC Diagnostics (診断) のディスク作成
4. MS-DOS

実行するプログラムの番号を選択して下さい。

2) ここでキーボードから [4] キーを押します。

3) メニューの下に「A:¥>」と表示されます。

「A:¥>」の後に続けて **format c: /u** と入力し、[Enter]キーを押します。
はスペースキーを表します。入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。

4) 次の画面が表示されます。

注意：ドライブC の
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
フォーマットしますか (Y/N)?

5) ここでキーボードから [Y]キーを押し [Enter]キーを押します。
フォーマットが開始されます。0%～100%まで数値が進みます。

6) フォーマットが完了すると、ボリュームラベルの入力を促す画面が表示されますが、何も入力をせず空白のまま [Enter]キー を押します。

7) QUICKRESTORE CD をドライブに入れたままの状態で[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

5. クイックリストア CD による復元

目的 : QUICKRESTORE CD を使用し、出荷時のイメージをハードディスクに書き込みます。

1) QUICKRESTORE CD が入ったまま再起動し、次の画面が表示されます。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">クイックリストア (クイックフォーマット)クイックリストア (完全フォーマット)PC Diagnostics (診断) のディスク作成MS DOS |
|---|

実行するプログラムの番号を選択してください。

2) 2. の「クイックリストア (完全フォーマット)」を選択します。キーボードから [2] キーを押します。

3) 表示言語の選択画面が表示されます。「日本語」のまま [Enter] キーを押します。

4) 重要画面が表示されます。[Enter] キーを押します。

5) 「ようこそ」という画面が表示されます。「はい」のまま [Enter] キーを押します。

この後、「シリアル番号の入力」を求められる画面が表示されることがあります。ご使用のコンピュータのシリアルナンバーを入力し、[Enter] キーを押します。

シリアルナンバーの入力を求められた際、正しく入力しているにもかかわらず、シリアル番号が受け付けられない時には、本体裏側、または保証書から確認したシリアル番号のうち、5桁目から8桁目の「CFD」を **CD92** に変更して入力してください。

例 xxxx**CD92**xxxx

6) 「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。正しい機種を [] キーにて選択し [Enter] キーを押します。

7) 機種の確認画面が表示されます。再確認後 [Enter] キーを押します。

8) 警告画面が表示されます。「はい」のまま [Enter] キーを押します。

9) 復元中画面が表示されます。パーセンテージが進み、システムの復元作業が開始されます。

10) しばらくすると、「クイックリストア完了」のメッセージが表示されます。QUICKRESTORE CD をドライブから取り出し、[Enter] キーを押して再起動します。

6. Windows98 のセットアップ

目的 : リストア完了後、個人情報等の再設定を行い、Windows を使用可能な状態にします。

1) 再起動後、Windows 98 のセットアップウィザードの画面になります。名前、会社名を入力し、[次へ >] をクリックします。

入力は名前のみでも結構です。

2) 使用許諾契約の画面になります。契約内容をよく読み、[同意する] をクリックして選択し、[次へ >] をクリックします。

3) プロダクトキー入力画面になります。お手持ちの「Windows 98 ファーストステップガイド」表紙に記載されている 25 桁のプロダクトキーを確認の上、間違いのないよう入力します。入力後、[次へ >] をクリックします。

4) ウィザードの開始画面になります。[完了] をクリックします。

5) 「日付と時刻」「プリンタのインストール」等の画面が表示されます。これらの設定は後ほど行えますので、[閉じる] [キャンセル] をクリックし、先にお進み下さい。

以上の操作でリストアの完了です。

以上